

2021年度 たのスポ大阪編集方針（案）

2021.9.25 大阪支部たのスポ編集班

【組織及び担当】

- ①メンバー 船富・武藤・山本ま・山本あ・前田・窪田
- ②たのスポ担当号及び編集責任者 2022年春号 担当／窪田

【活動方針】

- 1) たのスポ 2022年春号（発行2022年4月）の企画。原稿〆切2021年12月31日
- 2) たのスポの編集に当たっては、編集意図を明確にした「読まれるたのスポ」を目指す。
- 3) 合評・学習会等をすると共に支部の意見も吸い上げ、それらが反映できる編集をする。

【活動方針を実現するために】

- 1) 毎回短時間でもたのスポの合評を行う。また、必要なときは特集に関するミニ学習会も適宜入れていく。
- 2) 対象読者をイメージしながら、「読まれるたのスポ」の編集に心がける。
- 3) 早めのプロット作成を心がけ、ゆとりのある編集を目指す。
- 4) 各ブロック等で行われる「たのスポ学習会」の情報を可能な限り集め、その声を編集委員会に反映させる。また、支部ニュースの「たのスポニ番煎じ」や、たのスポの「読者のページ」さらには他支部の支部ニュースでの「たのスポのページ」等を参考に読者の声をできるだけ把握するようにする。

<2022年春号の趣旨>

【主旨説明】

特集1：「だから”手放せない体育 ～子どもの心をつかむ学級づくり～」

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、教育現場も大きな変化の時期を迎えている。オンラインでの学習環境の整備や、プールや一部の体育学習の民間委託に拍車がかかっている。しかも全国規模でこの問題がすすんでいる。新学習指導要領の全面実施により、教えることが多すぎて、“教えることに疲弊している”教師もいるだろう。そんな中で一部の体育学習がアウトソーシング化されて歓迎する若い教師も少なからずいる。今までは“体育で学級づくり”と考えてきた人たちもだんだん少なくなってきたと感じる。体育こそ学級づくりの要。だからこそ体育は手放してはいけない。その考えに立ち、本特集は体育での学級づくりや実践のよびかけを通して、民間の外部コーチなどではなく教師が体育学習をする意味を再検討し、今の時代に合った価値づけができればと考える。新年度を迎える時期の発刊を意識し、教師が学級開きや体育の授業開きで取り組んでいることなどを紹介し、広く職場などで発信をして学年や職場でつながりをつくる契機としたい。全体の構成としては、発達段階別に学級開きや体育開きで行っている運動遊びやゲームなど幅広く紹介し、読者にやってみたいと感じてもらえるような紙面をめざす。体を動かすゲームなどで子どもと教師・子どもと子どもの関係性を深めることのできる事例をたくさん紹介することで、異質共同の学び＝教え合う・学び合う集団へと作り上げていくことの大切さを読者にも意識してもらいたい。また、特集の後半では実践のすすめとして、実践報告に近い形式で教材の紹介を行う。単元全体や教育課程を意識した体育学習についても提案をしていきたい。

特集2：「大阪にみる教育情勢のゆくえ」

「子どもたちが豊かな未来を幸せに生きていくために、公教育はどうあるべきか真剣に考える時が来ている。」

2021年5月、大阪市の現職校長が大阪市の松井市長に意見文を提出したことが大きなニュースとなった。大阪の公教育つぶしは府内の現場で様々な形で行われている。学テの点数上げのために現場に降ろされる様々な愚策や、GIGAスクール構想に伴う一人一台端末の配備に関する市長の発言や現場の混乱など、大阪の教育現場は疲弊し切っている。また、コロナ禍に乗じて、水泳学習を民間委託へと進めようとする動きが活発化し、カネもヒトもかけずに“小中一貫教育”とうたって現場に取り組みを強要している市町村が増えている。小規模の小中学校の統廃合や保育所つぶしも行政が率先して行っている。政治家が教育行政に大きく介入し、それをよしとする流れができてしまったのが大阪である。

すでに全国各地でさまざまな問題が大阪同様に起こっていることと思う。しかし、いま大阪で起こっているこれらの諸課題は、やがて全国規模へと広がり、これからますます政治の教育介入がすすんでいくと考える。大阪の教師は今も必死になって子どもと地域を守るために日々奮闘を続けている。そんな大阪の今の状況を全国の方に知っていただき、未来を変えるエネルギーに転換することを目的とし、特集2を計画した。大阪の教育についてのさまざまな問題点について振り返りながら、これからの教育について問題提起を図ることができればと思う。

【2022年春号発行までの流れ】

特集の確定・プロット案検討 ～7月3局

プロット案確定 ～9月3局 <7ヶ月前>

原稿依頼 10月3局で最終確認 <6ヶ月前>

原稿依頼完了 10月中旬

原稿〆切 12月31日 <3ヶ月前>

創文入稿 1月31日 <2ヶ月前>

ゲラ校正完了 2月28日 <1ヶ月前>

青焼き校正完了 3月中旬 ※今回から班長による確認も

発行 4月1日